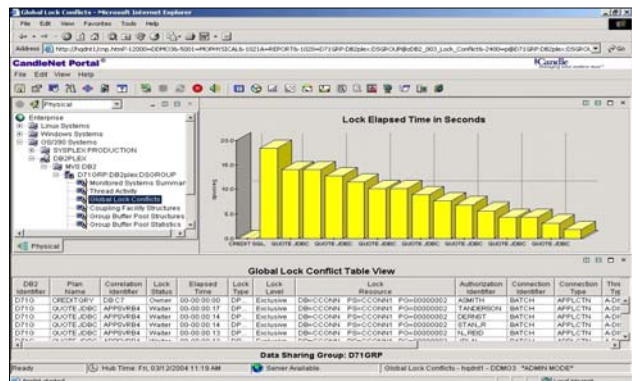


IBM Tivoli OMEGAMON XE for DB2 on z/OS



IBM Tivoli OMEGAMON® XE for DB2® on z/OS® は、DB2 メインフレーム環境を先行して管理および調整してパフォーマンスの最適化を実現する、次世代の OMEGAMON パフォーマンスおよびアベイラビリティ・ソリューションです。IBM OMEGAMON XE for DB2 on z/OS は、64 ビットの画期的な仮想アドレッシングや長い SQL ステートメントなどの DB2 V8 の機能を活用すると同時に、分散スレッド・トラッキング、ワークロード・モニタリング、ヒストリカル・レポートなどを推進することでこの堅牢性を実現します。

Tivoli OMEGAMON XE for DB2PE/PM on z/OS



Web インターフェースにより、DB2 とその他のアプリケーションとの対話を含め、全体レベルおよび詳細レベルのどちらにも対応する単一インターフェースが得られます。IBM Tivoli OMEGAMON XE for DB2 on z/OS では、見えないパフォーマンスの低下や異常を識別し、リアルタイムで処置を行い、反復性の高い DB2 操作を自動化することができます。

機能、説明、利点		
機能	説明	利点
分かりやすい Web ブラウザー・インターフェース	DB2 システムと CICS®、IMS など他のシステムとの対話を単一のインターフェースであらゆる場所からモニターできます	データベース問題の原因を迅速に検出して突き止め、システム間のトランザクションを追跡できます
単純なしきい値だけでなく、複雑なしきい値、状況、アラートを簡単に定義 Situation Editor	アラートの発生原因に関する詳細な情報を表示します。Expert Advice により、業界ベスト・プラクティスに基づく有効なソリューションを提案します	誤ったアラームを排除し、スキルの共有を推進できます。経験のレベルを問わず、複雑なアラートを生成できます

<p>DB2 トランザクションの各ステップを追跡しパフォーマンスの低下を調べることができるアプリケーション・トレース機能。オブジェクト分析による、DB2 スレッドごとの I/O、待機時間、およびビジー時間の詳細情報の表示</p>	<p>トランザクションのステップごとに個々のユーザー別または複数のスレッドにまたがるアプリケーション別にリソースの使用率を調べます</p>	<p>遅延の原因を突き止め、システムを速やかに微調整してパフォーマンスの最適化を図ることができます</p>
<p>隠れた直近のパフォーマンスの低下、傾向、または異常を表示 Near-Term History</p>	<p>大量トランザクションを処理する場合に使用し、データベース操作の調整に役立てます</p>	<p>問題が発生する前に是正措置を取り、事前の対策を講じた対処によって同様の問題が将来発生することを防止できます</p>
<p>OMEGAMON II® および従来のインターフェースから情報にアクセスできるようにする組み込みの TN3270 コンポーネント</p>	<p>詳細なレベルまで掘り下げることができます。すなわち、Web ベースのエンタープライズ・ビューから、詳細なワークスペース、さらには TN3270 インターフェースまで、すべて単一の制御ポイントからナビゲートできます</p>	<p>OMEGAMON II および従来のインターフェースから OMEGAMON XE に迅速かつ簡単にマイグレーションできます</p>